

風かほる

1学期お世話になりました。

4月8日から70日間にわたる1学期が本日終業式を迎えました。

地域の皆様には、毎朝の登校見守りを始め、さまざまな場面で子供たちがお世話になりありがとうございました。

明日から夏休みに入り、子供たちは、家庭、地域での生活が中心となります。コロナ禍において、地域行事等で子供たちの活動を見ていただけないのが残念ですが、地域の皆様には、引き続き、「先生」「親」以外の人生の先輩である「大人」として、中学生に関わり、見守っていただくことで、中学生の成長にお力添えをいただきたく、お願いいたします。

これからも、地域の皆様にとって、「明るく開かれ、応援したくなる南陵中学校」をめざします。

新型コロナウイルス対応と学校の教育活動

この1学期も、新型コロナウイルス感染防止と教育活動の両立を目指し、教育活動を行ってきました。毎日の健康観察はもちろんですが、体調不良があったり家族がPCR検査を受けたりしたら登校しない(教職員も同様です)など、ご家庭の協力もお願いしながら、学校が感染源にならない、学校から濃厚接触者をださないことを基本に対応してきました。

具体的には、教育委員会の指示も受けながら、授業におけるグループ活動や、部活動における活動の制限などを行ってきました。中でも、いちばん胸が痛むのが給食の時間です。マスクをはずしリスクが高まることから、席を向かい合わせにせず、前を向いて一人ずつ黙って食べています。小学校も同様です。こうした給食の時間が、1年以上続いています。ニュース等で、大人の野放図な様子を見る度に、子供たちは毎日こんなに我慢しているのにといたたまれない気持ちになります。

校外行事は、1, 2年生は時期をずらして、それぞれ、加治丘陵へのオリエンテーリング、川越巡りを実施することができました。7月に実施予定の3年生の修学旅行は延期し、10月に実施予定です。

また、この夏休みは、市が整備した一人一台のコンピュータを家庭に持ち帰りオンラインの家庭学習が可能となり、2学期以降学校でも活用していく予定です。

子供たちの活躍の様子から

学校総合体育大会では、卓球部女子(団体、個人)、柔道部(団体、個人)、テニス部男子(団体)、剣道部男子(個人)、陸上部(18名)が、市内大会で優秀な成績を収め、県大会に出場します。また、文化的な活動においても、人権作文(2年女子、西部地区代表)、硬筆展県展出品(3名)、合唱部の県合唱祭参加などの活躍がありました。本年度も南陵中学校愛校会からのご支援も頂き、県大会への交通費や楽譜購入の補助等にもあてさせていただいています。ありがとうございます。

今月10日には、つばめ児童館こどもまつりに約50名の子供たちがボランティアとして運営の補助に携わり、その仕事ぶりをほめていただきました。学校で学んだことは、学校外、地域での体験を通して深まっていくものと考えます。活動の機会をいただきありがとうございました。